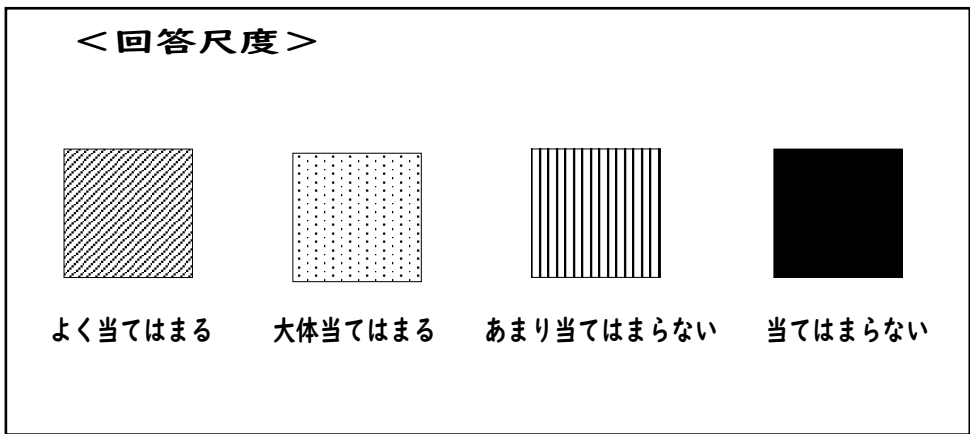


令和8年度（前半）

【学校評価アンケート結果について】

夏休み前に実施いたしました学校評価アンケートの集計結果を、お知らせいたします。

「1・2年児童」「3・4年児童」「5・6年児童」「保護者」「教職員」の結果をグラフで表しています。



このアンケートでは、本校の「目指す子ども像」に照らして、児童・保護者・教職員の視点から評価することを通して、日々の学校教育活動の成果と課題を見つめ、今後の改善の指針とさせていただきたく存じます。

また「家庭・地域での子どもの様子」について調査することを通して、家庭・地域と学校との連携を深めていきたいと存じます。お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

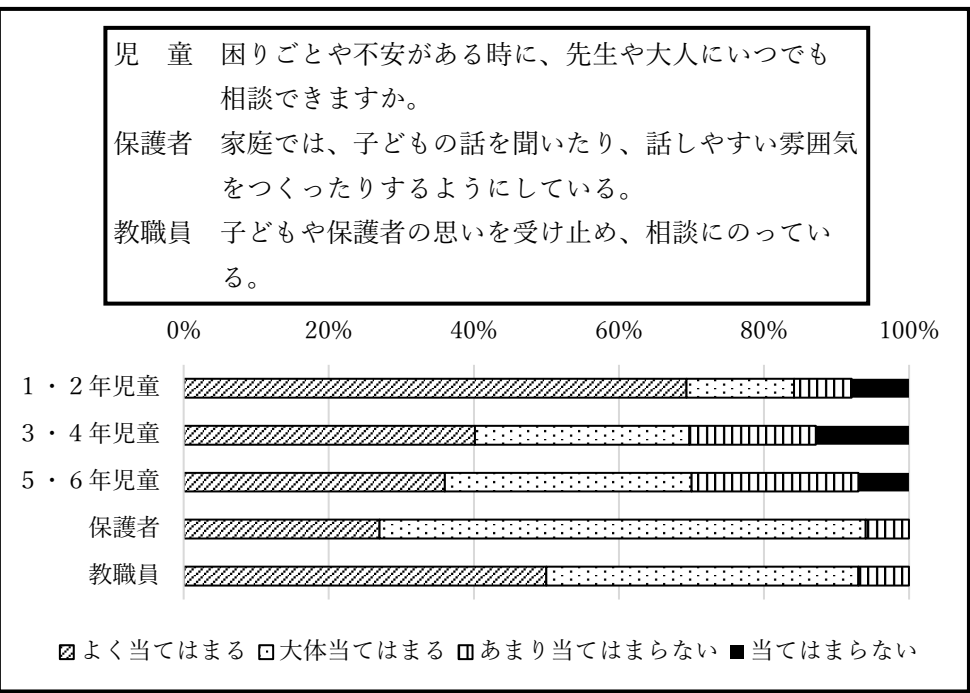
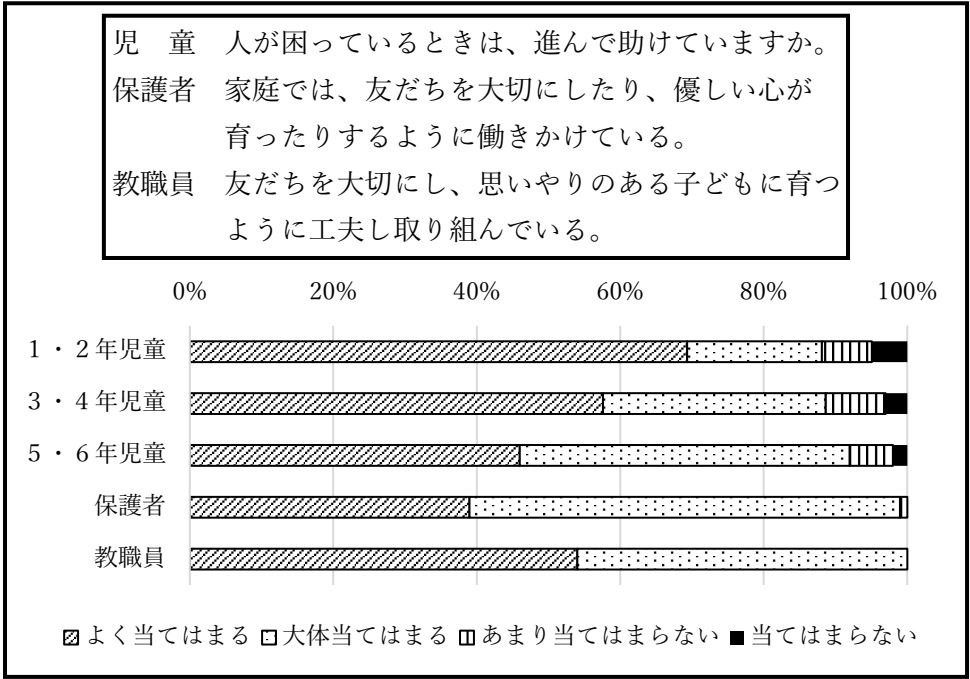


相手の思いを受け止めながら聞くことができる子

「人が困っているときは、進んで助けていますか」の項目では、全学年で高い肯定的回答が見られました。特に低学年では「よく当てはまる」と回答した児童の割合が高く、困っている友達や周囲の人に対して、自分から声をかけたり行動したりしようとする姿勢が育っていることがうかがえます。また、保護者・教職員の回答もほぼ100%が肯定的であり、家庭と学校が連携しながら思いやりの心や助け合いの精神を育ててきた成果が表れていると考えられます。

一方、「困りごとや不安がある時に、先生や大人にいつでも相談できますか」の項目では、多くの児童が肯定的に回答しているものの、学年が上がるにつれて「よく当てはまる」の割合が低下する傾向が見られました。高学年になるにつれて、自分で解決しようとしたり、周囲に気を遣ったりすることで、悩みや不安を相談しにくくなる様子がうかがえます。しかし、「大体当てはまる」を含めると全体としては多くの児童が相談できると感じており、学校や家庭が安心して話せる環境づくりに努めていることが分かります。

これらの結果から、本校の児童には相手を思いやり、困っている人を支えようとする温かな心が育っていることが分かりました。今後も互いを認め合い、安心して過ごせる学級づくりを進めるとともに、日常的な声かけや教育相談の充実を図っていきます。また、子どもたち一人一人の思いを丁寧に受け止め、自分の悩みや考えを安心して伝えられる環境を整えることで、より豊かな人間関係と相談しやすい学校づくりを進めていきたいと考えています。

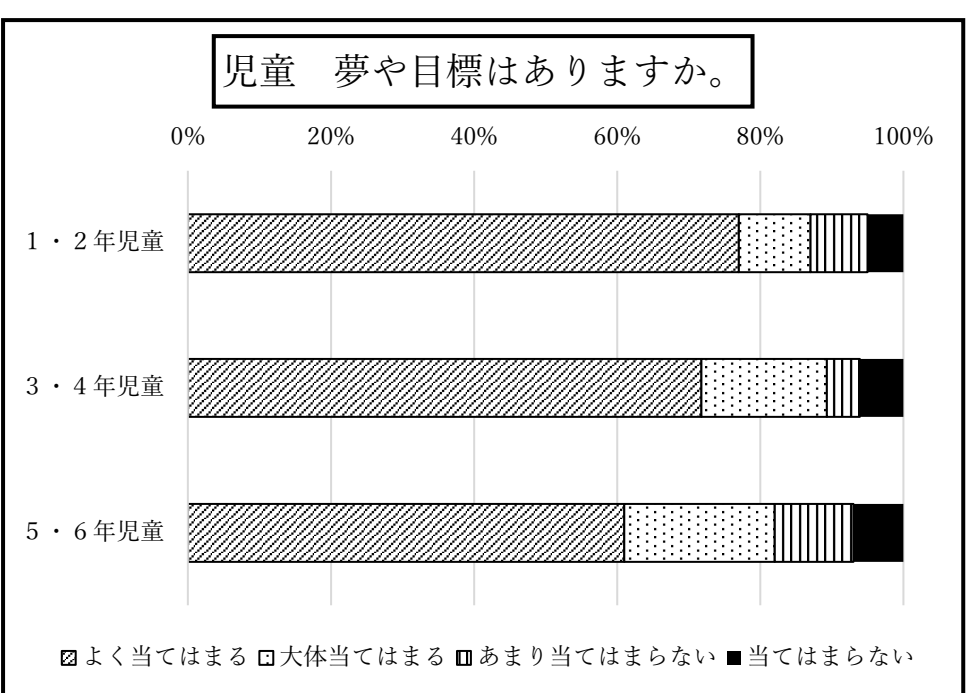
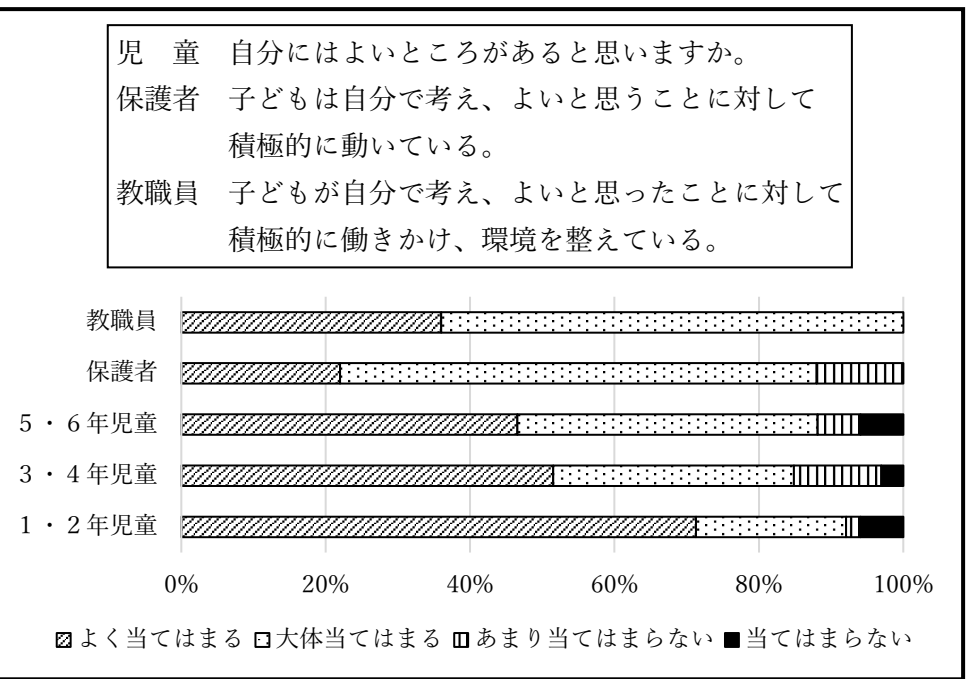


自分で考え、よいと思うことに対して積極的に動き出せる子

「自分にはよいところがあると思いますか」の項目では、全学年で肯定的な回答が多く見られました。特に低学年では「よく当てはまる」の割合が高く、自分のよさを素直に認めることができている様子がうかがえます。一方で、高学年になるにつれて「よく当てはまる」の割合は減少していますが、「大体当てはまる」を含めると多くの児童が自分のよさを認識していることが分かります。これは、成長に伴って自分自身をより客観的に見つめるようになり、自己評価が慎重になっているためと考えられます。

また、「夢や目標はありますか」の項目についても、全学年で肯定的な回答が高い割合を占めていました。しかし、自分のよさに関する回答と同様に、高学年ほど「よく当てはまる」の割合が低くなる傾向が見られました。将来への期待や憧れだけでなく、自分の課題や現実を踏まえて考えるようになる発達段階の特徴が表れているものと考えられます。

これらの結果から、本校の児童は自分のよさや将来の目標を意識しながら成長している一方で、自信をもって自分を認めたり行動に移したりすることに課題が見られます。今後は、児童会活動や委員会活動、学級活動などで主体的に考え行動できる場をさらに充実させるとともに、日々の努力や成長を積極的に価値付け、認める機会を増やしていきます。成功体験を積み重ねることで自己肯定感や自己効力感を高め、自ら考え、よいと思ったことを実践できる児童の育成を目指していきます。



学び続けることができる子

「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目では、児童・保護者・教職員ともに高い肯定的評価が見られました。多くの児童が学校生活に楽しさや充実感を感じながら過ごしており、安心して学ぶことのできる環境が整っていることがうかがえます。学び続けるためには、まず学校が「行きたい場所」であることが大切であり、本校の教育活動が子どもたちの学習意欲を支える基盤となっていることが分かります。

また、「分からないことや知りたいことは自分で調べますか」の項目では、多くの児童が肯定的に回答しており、自ら課題を見付け、解決しようとする姿勢が育ってきていることがうかがえます。一方で、高学年になるにつれて「よく当てはまる」の割合がやや低下しており、学習内容の高度化に伴う課題も見られます。しかし、「大体当てはまる」を含めると多くの児童が主体的に学ぼうとしており、学びに向かう力は着実に育まれていると考えられます。

教科別の結果では、国語・算数・理科・社会のいずれにおいても「授業がよく分かる」という回答が高い割合を占めていました。子どもたちは授業内容を理解しながら学習を進めることができており、日々の授業改善の成果が表れていると考えられます。一方で、「本を読むのは好きですか」の項目では、他の項目と比較して肯定的回答の割合がやや低く、特に高学年で読書離れの傾向が見られました。読書は学習の土台となる言語力や思考力、探究心を育む重要な活動です。今後は読書活動の充実を図るとともに、子どもたちが自ら問いをもち、主体的に学び続けようとする力をさらに育てていきたいと考えています。

本年度前半の学校評価アンケートでは、多くの項目で児童・保護者・教職員から高い肯定的評価が得られました。特に、友達を思いやる心や学校生活の楽しさ、授業の分かりやすさについては高い評価が見られ、子どもたちが安心して学び、成長できる環境が整っていることがうかがえます。

一方で、高学年になるにつれて自己評価が慎重になる傾向や、相談することへのためらい、読書習慣の定着といった課題も見られました。

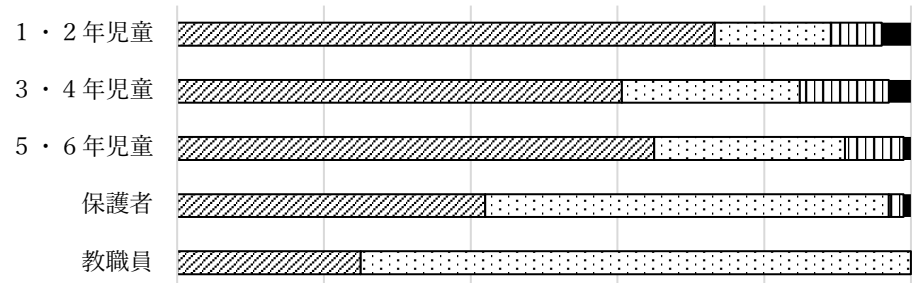
今後は、子どもたち一人一人のよさや成長を認めるとともに、安心して思いを伝えられる環境づくりを進めていきます。また、読書活動や主体的・探究的な学びを充実させ、自ら考え、学び続ける力を育てていきます。引き続き、家庭や地域と連携しながら、魅力ある学校づくりに努めてまいります。

児童 学校に行くのは楽しいと思いますか。

保護者 子どもは、楽しく学校に通うことができている。

教職員 子ども達が楽しく学校に通うことができるよう工夫している。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

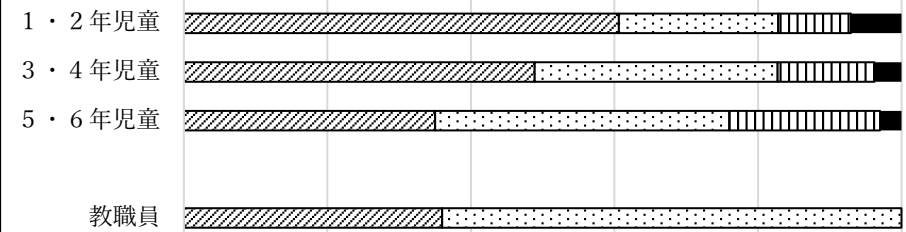


よく当てはまる 大体当てはまる あまり当てはまらない 当てはまらない

児童 分からないことや知りたいことは自分で調べますか。

教職員 子どもたちが主体的に活動し、自ら動き出せるよう工夫している。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



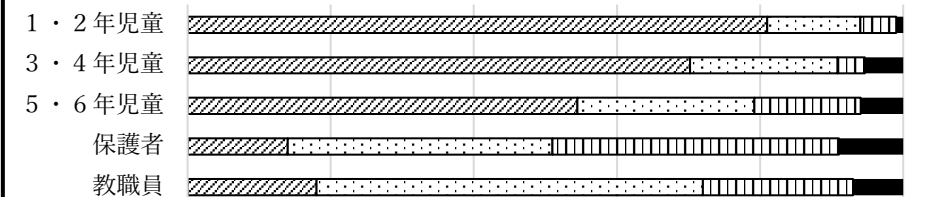
よく当てはまる 大体当てはまる あまり当てはまらない 当てはまらない

児童 本を読むのは好きですか。

保護者 家庭では、子どもに進んで本を読むように働きかけている。

教職員 本が好きな子どもに育つように工夫して取り組んでいる。

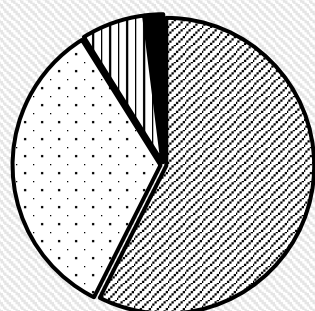
0% 20% 40% 60% 80% 100%



よく当てはまる 大体当てはまる あまり当てはまらない 当てはまらない

国語の授業はよくわかりますか。

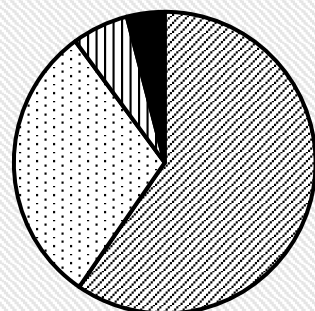
対象：3～6年児童



よく当てはまる
大体当てはまる
あまり当てはまらない
当てはまらない

算数の授業はよくわかりますか。

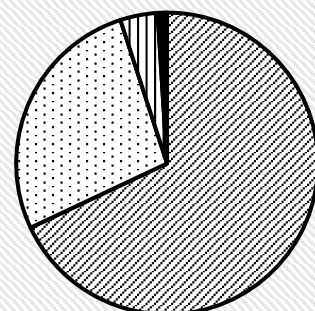
対象：3～6年児童



よく当てはまる
大体当てはまる
あまり当てはまらない
当てはまらない

理科の授業はよくわかりますか。

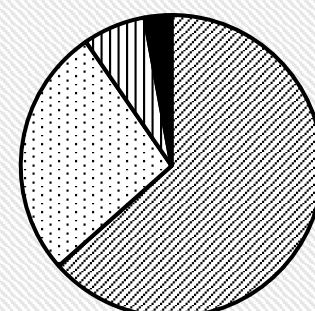
対象：3～6年児童



よく当てはまる
大体当てはまる
あまり当てはまらない
当てはまらない

社会の授業はよくわかりますか。

対象：3～6年児童



よく当てはまる
大体当てはまる
あまり当てはまらない
当てはまらない